

日産シビリアン(W41型)

# アラウンドビューモニター(AVM)解体マニュアル

本マニュアルは当社で架装した、日産シビリアン(W41型)を種車としたアラウンドビューモニターを解体する場合の手順および留意事項を記載したものです。種車である日産シビリアンの解体要領については、日産自動車にお問い合わせ下さい。

## 目 次

1	表紙	-----	P 1
2	構造概要	-----	P 2、3
3	解体時の留意事項と解体手順	-----	P 3
4	一般事項	-----	P 4

### 適用車両

シビリアン・アラウンドビューモニター付車



- ・ 本マニュアルは、架装車両の架装部位の解体要領を示しています。掲載の写真は実物と異なる場合がありますのでご了承願います。
- ・ このマニュアルは解体作業の参考として提供させて頂くものです。本マニュアル以外の一般的な部位の解体に当たっては、解体業者様にてご判断の上、作業して頂きます様お願い致します。

# 1. 構造概要

本車両は日産シビリアン(W41型)を種車として、アラウンドビューモニタを追加したものです。  
主要装備は、カメラ及びコントローラです。

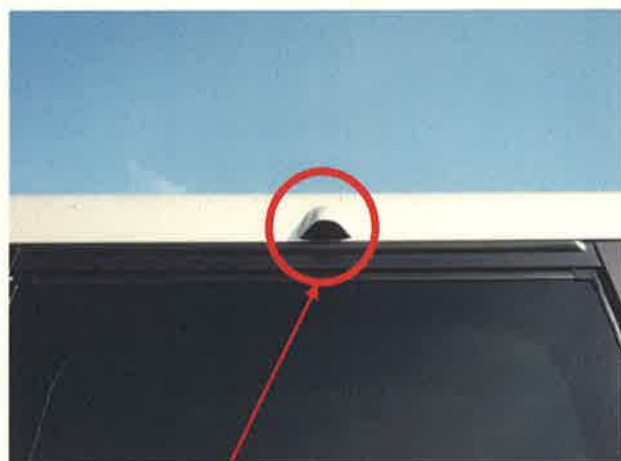
## ▼主要部品の構成と材料

①	カメラ(前側) カメラカバー…樹脂 カメラブラケット…鉄製
②	カメラ(サイド)～左右 カメラカバー…樹脂 カメラブラケット…鉄製
③	カメラ(後側) カメラカバー…樹脂 カメラブラケット…鉄製
④	コントローラ

## ▼主要部品の番号と写真



①カメラ(前側)



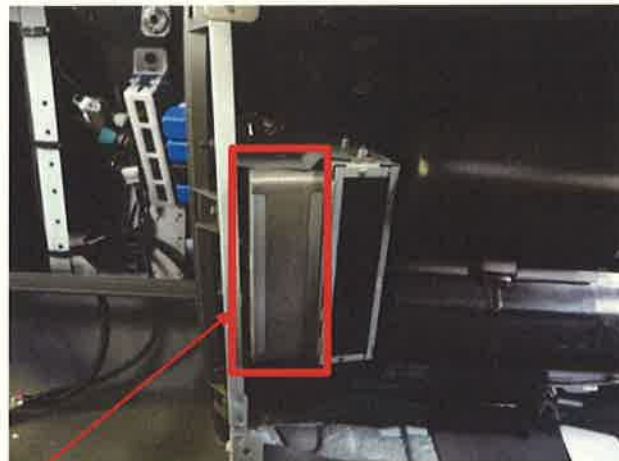
②カメラ(サイド)～左右



③カメラ(後側)



インスト下部カバー



(カバーを外した状態)

④コントローラ

## 2. 解体時の留意事項

- 1) 作業を安全に行うため、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 2) 高所作業については、安全带、足場の確保等転落防止処置を講じてください。
- 3) 本車両に架装されている部品は、ボルト、ビス、リベットによる締結構造となっています。解体に当たり、リベットの取り外しはドリルで、ボルト・ビスの取り外しは一般工具で
- 4) 架装部品の主な材料は前ページに示した通りです。各種材料で組み付けされていますので、分別等に際し、適切な処理をして下さい。

## 3. 解体手順

### 1) カメラの取り外し

1. 各カメラ(前後左右)のカバーを取り外します。
  - ・前、左右のカバーは取付ビスを外し、カバーを取り外します。
  - ・後のカバーはクリップを外しカバーを外します。
2. 各カメラ(前後左右)を外します。
  - ・カメラブラケットと車体、カメラ本体とブラケットの各取付ビスを外します。

### 2) コントローラの取り外し

1. インスト下部のトリムカバーを外します。
  - ・取付ビス及びクリップを外し、カバーを外します。
2. アラウンドビューモニタのコントローラを取り外します。
  - ・コントローラ取付ビスを外し、コントローラを外します。

※インスト部のモニタは、種車標準のバックビュー用、若しくはナビ用のモニタです。モニタ部の解体が必要な場合はメーカーにお問い合わせ願います。

## 4. 一般事項

- 1) 本車両に含まれている 断熱材、FRP・ABSの解体後処理については、  
「適正処理・再資源化協力事業者一覧表」  
社団法人 自動車車体工業会ホームページの掲載を参照し、適正に処理して下さい。
- 2) 本車両に含まれる特別架装部分での「使用済み商用車架装物の事前選別対象物」は  
樹脂(ABS)です。  
(基準車部分は除きます。)

▼以下の基準で処理をお願いします。

処理品目	鉄、ステンレス、アルミ、ゴム、合板、樹脂(PVC系マット)
危険区分	該当せず
産業廃棄物区分	樹脂、モール
代表的な除去方法	車両から取り外す
工場内保管方法	所定パレット内に保管
処分方法	シュレッダー業者又は専門回収会社に処理委託

### 2) お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関してのお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 オートワークス京都 コンバージョン開発部 京都開発グループ

TEL : 0774-46-7072